

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【I II III】
2 実施対象者	学校名 長生村立一松小学校 対象学年 全校 人数 175人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合、特活、その他) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	次世代を担う子ども達に国際感覚やスポーツの楽しさ、長生村を愛する心、障がい者への理解を身につけさせる。
5 取組内容	<p>【車いすバスケットボール】</p> <p>パラスポーツを通して障がい者や他者の理解を深めたり、パラアスリートの生き方に触れ、たくましく生きる力や努力の大切さを学んだりするために元シドニーパラリンピック日本代表の根木慎二氏を招いて特別授業を行った。</p> <p>当日は、「障害とは何か」についての講演を聞き、その後、「車いすバスケットボール大会」を児童が体験する中で、パラスポーツに触れたり、障がいを理解しようとしたりする良い機会となった。</p>



	<p>【海岸清掃】 オリンピックのサーフィン会場である一宮海岸と隣接する海岸を清掃することで、おもてなしの気持ちを育てようと PTA に協力してもらい実践した。</p> <p>当日は、長生村村長のあいさつ、PTA 会長のあいさつの後、本校の児童と保護者の清掃で一松海岸をきれいにすることができた。</p>  
<p>6 主な成果</p>	<p>オリンピック・パラリンピックを活用することで、障がい者、会場に訪れる人など、相手を想定した授業展開ができる。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>【車いすバスケットボール】 当日は、進行や準備等、児童に任せることで児童が活動する内容が多くなった。</p> <p>【海岸清掃】 PTA を巻き込むことで、児童だけでなく、保護者の参加も多かった。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パラアスリートを招いての特別授業では、実際にパラアスリートが校内を利用することによって、本校が設備面においてバリアフリー化が不足していることがわかった。 ・海岸清掃や特別授業の実施にあたっては、本校職員のみでの運営が難しいため、保護者に協力いただいたが、今後は地域を巻き込んでオリンピック・パラリンピックの意識醸成のため、積極的に保護者や地域住民に参加を求めたい。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸清掃では、「海がめ」を保護している柵を見つけ、児童や保護者も大変、関心をもったようである。 ・来年は、地域にある鴨川シーワールドの派遣事業である「海がめ教室」を行う等、事業に付加価値をつけ、深い学びとし、更にオリンピック・パラリンピックに向け、地域や保護者の関心も高めていきたい。